沖縄低温物流会社に出資
3温度帯拠点開設へ
国分グループ本社

沖縄新センター完成イメージ

国分グループ本社は沖縄の大手石油・ガス販売会社、りゅうせき（本社・沖縄県浦添市、資本金10億5千万円、嘉銘春夫社長）と業務資本提携を締結した。3月30日付でりゅうせき100％子会社で食品物流を手掛けるりゅうせき低温流通の株式66・6％を譲り受け、新たな経営体制で営業を開始。浦添市内に3温度帯総合センターを建設し、拡大傾向にある沖縄県の低温物流ニーズに対応する。

りゅうせき低温流通は沖縄県全域で活動する低温専門の食品物流会社。主に県下食品卸の低温物流業務を受託しており、特に16年に国分グループに加わったナックスナカムラと関係が深い。提携後はナックスナカムラの商流機能とりゅうせき低温流通の物流機能を緊密に連携させ、沖縄市場を本格的に開拓する。

背景にセブン沖縄進出？

新センターは延床面積4千156坪の5層式で19年秋の稼働を予定。最新の省人化設備を導入し、フローズンチルドなどの流通加工にも対応する。国分グループの地方の3温度帯センターとしては大規模なものになる。

なお、このところ国分グループとの取引を広げているセブン―イレブン・ジャパンは19年度に沖縄県で出店を開始し、5年後に約250店を目指す方針。卸筋では今回の提携の目的を「セブン―イレブンへの供給対応」（大手卸関係者）とみる向きが強い。

成長戦略に生産、R&D再編
グループの技術・知見活用も
味の素

味の素の西井孝明社長は21日開催した懇談会の中で、2017～2019中期経営計画においてASV（味の素シェアドバリュー）を通じて成長し、グローバル食品企業トップ10クラス入りを目指す方針を改めて表明したが、この中でASVによる成長戦略の一つに生産体制と生産技術のイノベーション強化を挙げた。

生産体制では調味料・加工食品の5つの生産拠点を3拠点に集約。19年度下期に東海事業所内に、21年度上期に川崎事業所内に最新鋭工場を竣工。生産技術の集約と強化では、味の素社、クノール食品および味の素パッケージングの生産体制を集約・再編。「イノベーションの狙いは、生産拠点の集約により効率化を進めるだけでなく、味の素社、クノール食品、味の素パッケージングの技術部門を集約し、ICT や自動化を駆使した世界トップレベルの生産拠点にし、2021年度の労働生産性を約2倍に高める」と語った。

また、クライアント・イノベーション・センター（CIC）設立とグループのR&D拠点の集約もASVによる成長戦略だと指摘。そこで他社の技術・知見活用によるオープン&リンクイノベーションを推進。その拠点を、約11億円を投じてグループの研究開発を支える3研究所（イノベーション研究所、食品研究所、バイオ・ファイン研究所）が立地する川崎事業所内に新設する。

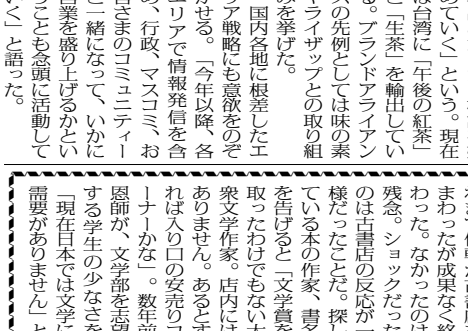
西井社長

「食とアミノ酸の融合を進めるにはR&D（研究開発）の基盤を整える必要がある。グループが持っている研究開発の知見を集結し、お客さまと一緒に課題解決を進めるスピードを上げるための取り組みなどの方針をすべてジョイントしてつくっていく」と方針を語った。

成長による利益創出へ舵
基盤強化と将来への種まき
キリンビバレッジ

〝利益ある成長〟をビジョンに掲げ営業利益ベースで過去最高益となる事業利益217億円（IFRS基準）を前期（12月期）に達成したキリンビバレッジ。ただし販売面では基幹ブランドの「ファイア」が苦戦するなどの課題を残し、またコスト削減による利益成長には限りがあることから今期を起点に〝成長による利益創出〟の命題に取り組む。

22日、都内で方針発表した堀口英樹社長は「コストは最終的にはゼロにはならない。どこかで成長を基盤とした利益成長のサイクルをつくっていかないといけないということで今回、成長により軸足を置いた方向へステージアップすることにした」と語り、今期から毎年1ケタ前半の数量増を図り2021年には事業利益率を前期の7・6％から10％に引き上げる方針を明らかにした。今期の販売数量目標は前年比3％増の2億3千370万ケース。


堀口社長㊨と今年90周年の節目に大刷新した「キリンレモン」商品担当の二宮倫子マーケティング本部マーケティング部商品担当主任

そのための柱は、既存領域での成長・新領域での取り組み・持続可能な仕組みづくり――の3つ。既存領域での成長は、従来からの取り組みである強固なブランド体系の構築を進化させたもので、新たに〝統合マーケティングの実行〟を加えた。これについては「マーケ・商品開発部門と営業部門のプランニング段階からの統合を図っていく。今まで完全にセパレートしていたわけではないが、プランニング段階から商品・広告・店舗に加わったセブンカフェ、味の素冷凍食品の食品開発・研究部門を川崎事業所内に集約。これで価値創造力と顧客課題解決力を一気に高めたい」と方針を語った。

触れていただけるとリピートいただける」との考えでトライアル獲得に注力し今期9％増を狙う。

育成領域では今年90周年を迎える「キリンレモン」を大刷新し4月に新発売する。

新ブランドの創出については「中期という観点でポテンシャルのあるものがあればチャレンジしていく」。

新領域の取り組みでは、将来への種まきとして海外展開やブランドアライアンスなどを検討し飲料の世界を広げる新たな取り組みに着手する。

「例えば飲料の領域からスムージーなどに広げることを、ビジネスモデルの仕組みづくりと一緒になって、いかに営業を盛り上げるかということも念頭に活動していく」と語った。

新社長に岡本均氏
高垣晴雄氏の辞任を受け
伊藤忠食品

岡本氏

伊藤忠食品は現・伊藤忠商事代表取締役の岡本均氏を社長に選任するトップ人事を23日開催の取締役会で決議した。岡本氏は4月1日付で社長執行役員、6月21日開催の定時株主総会ならびに取締役会後に代表取締役に就く。現・代表取締役社長執行役員の高垣晴雄氏は3月31日付で辞任する。高垣氏は昨年6月の社長就任から約9か月で降板となる。

伊藤忠食品は高垣氏の辞任の理由について「経営基盤の整備・強化にめどがつき、当初の役割が達成できた」ためと説明。「健康上の理由ではない」（経営企画部IR広報チーム）としているが、高垣氏が腰を据えて経営に取り組む姿勢を強く示していただけに、食品業界では予想外のトップ人事に波紋が広がっている。

岡本均氏は1956年生まれの61歳。伊藤忠商事では一貫して繊維畑を歩み、現職は代表取締役専務執行役員CSO・CIO。次期伊藤忠商事社長の呼び声も高かった。

総合商社の代表取締役経験者が傘下食品卸の社長に就くのは、田中茂治氏（現・日本アクセス会長）、井上彪氏（前・三菱食品社長）に次いで3人目。伊藤忠食品では初。

なお、伊藤忠食品はトップ人事に合わせ、4月1日付で現・取締役執行役員の川口浩二氏を代表取締役執行役員に昇格させる。

岡本均氏（おかもと・ひとし）＝56年6月14日生まれ、兵庫県出身、61歳、早大法卒。80年伊藤忠商事入社、2005年ファッションアパレル第一部長、08年執行役員ファッションアパレル部門長、10年取締役常務執行役員繊維カンパニープレジデント、14年取締役専務執行役員、15年CSO、16年CSO・CIO、17年兼CP・CITIC戦略室長、18年4月伊藤忠食品社長執行役員（6月から代表取締役）に就任予定。

日本水産 新社長に的埜明世氏

的埜氏

日本水産は23日開催の取締役会で社長交代を決議、3月15日付で的埜明世取締役専務執行役員が代表取締役社長執行役員CEOに就任する。大木伸介社長は病気療養のため辞任し、相談役（非常勤）に就任する。

的埜明世氏（まとの・あきよ）＝1953年11月9日生まれ（64歳）。77年慶應義塾大学商学部卒業後入社、2007年取締役、12年取締役常務執行役員を経て17年から現職。所有株式数3万5千株。

逆光線

本を探す必要が生じた▼文学が消耗品になった。20年前に出版されたのが本当なら残念至極。だが、消耗品でも個々人の心に、記憶に刻まれるものはある▼初めて口にしたカップヌードルは、いつ、どこで食べ、どんな味だったか。私はいまもその情景を含め記憶している。今年発売50周年のポンカレーも同様。6歳の時に祖母と食べた▼食は日常の消耗品かもしれないが、食べた人の記憶に残るものであると楽しい。心を動かすのは、心に刻まれるものは、贅を尽くした食よりも、市井で日常的に口にできる食品なのかもしれない。

噛いたことを思い出し、ここで食べ、どんな味だったか。私はいまもその情景を含め記憶している。今年発売50周年のポンカレーも同様。6歳の時に祖母と食べた▼食は日常の消耗品かもしれないが、食べた人の記憶に残るものであると楽しい。心を動かすのは、心に刻まれるものは、贅を尽くした食よりも、市井で日常的に口にできる食品なのかもしれない。

隔日刊
食品新聞
発行所　食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪市北区南森町2―3―30
郵便番号　530－0054
電話　06（6361）4972㈹
東京都中央区入船1―9―8
郵便番号　104－0042
電話　03（3552）3756-4031
名古屋市中区丸の内2－10－11
リプラ丸の内6　305号
郵便番号　460－0002
電話　052（221）5391㈹
（支　局）広島・福岡
© 食品新聞社 2018
THE JAPAN FOOD NEWS
購読料　半年33,346円

純粋ハチミツ
サクラ印 ハチミツ
株式会社 加藤美蜂園本舗
本社03-3875-1182

羽車ソース ミツ矢ソース
姉妹品 羽車ケチャップ ミツ矢ケチャップ

きょうの業界天気図
豆腐・納豆
くもり
豆腐は健康効果で木綿が底上げ。納豆は大手が価格改定へ。
きょうの主な内容
6～8 豆腐・納豆特集
9 初午いなり特集

安田食品工業株式会社
お茶の香りと磯の香り。とっても上品なおちつきの味わい。
初午 塩昆布茶
香川県小豆郡内海町安田甲103番地 TEL.(0879)82-2225

愛は食卓にある。kewpie
甘酸っぱい味わいと爽やかな香り。
NEW
果実と果実酢で、野菜のおいしさを引き立てる緑キャップシリーズに「マンゴードレッシング」が仲間入り。マンゴーピューレにパッションフルーツ果汁とりんご酢を合わせた爽やかな味わい。マンゴーの甘みが、野菜にフルーツやたんぱく質、穀物なども入ったパワーサラダによく合います。
野菜にドレスを着せましょう。
キューピー マンゴー ドレッシング
www.kewpie.co.jp/dressing